

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2021 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2154
研究開発課題名	複雑系のための機能設計オーダーN 一般化量子 ML 計算法
研究代表者	九州大学 大学院総合理工学研究院 教授 青木 百合子

総合評価

研究としては、着実な取り組みにより進展しているが、量子コンピュータの利活用という観点からは、先行研究の把握、手法の妥当性の評価、競合他者との比較等の面で検討が不足しており、さらなる研究ステップが必要である。ビジネスモデルの構築に向けて、経営戦略を立てられる人材の探索、競争優位性の確保、競合調査、スケールする事業計画策定等が今後重要となる。事業化に向けて、より一層の検討・努力が必要である。

以上